

【記載例】

土地建物等有償譲渡届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

大田区長様

譲り渡そうとする者	住所	東京都大田区〇〇1-2-3
	氏名	〇〇〇株式会社 取締役社長 大田 太郎

都市計画法第67条第1項の規定に基づき、下記に  
記 共有の場合には持分者全員の住所・氏名が必要です。  
共有者が多い場合は、別紙に記載

1 譲り渡そうとする相手方に関する事項

譲り渡そうとする相手方	住所	東京都〇〇〇〇4-5-6
	氏名	大森 次郎

2 土地建物に関する事項

ア 土地

所在及び地番	地目	地積	当該土地に存する所有権以外の権利		
			種類	内容	当該権利を有する者の住所及び氏名
〇〇一丁目 23番45	宅地	100.00 m <sup>2</sup>	抵当権	〇億円	〇〇区〇〇6-7-8 〇〇銀行

イ 建築物その他工作物

所在及び地番	用途	構造の概要	延べ面積	当該建築物とし、別紙に記載		当該権利を有する者の住所及び氏名
				種類	内容	
〇〇一丁目 23番45 家屋番号67 番89の0	居宅	木造2 階建	120.50 m <sup>2</sup>	なし		

3 予定対価の額に関する事項

予定対価の額	〇〇,〇〇〇,〇〇〇 円
--------	--------------

4 その他参考となるべき事項

備考

- 「地目」の欄には、田、畑、宅地、山林等の区分により、その現況を記載すること。
- 「地積」の欄には、土地登記簿に記載された地積（旧土地台帳法の規定の適用がある場合においては、土地台帳に登録された地積）を記載すること。実測地積が知っているときは、当該実測地積を「地積」の欄にかっこ書きで記載すること。
- 「内容」の欄には、存続期間、地代、家賃等当該権利の内容をできる限り詳細に記載すること。
- 「予定対価の額」欄には、予定対価が金銭以外のものであるときはその数量及び金銭に見積った額を記載すること。
- 譲り渡そうとする者、譲り渡そうとする相手又は土地建物に存する所有権以外の権利を有する者が法人である場合においては、氏名は、その法人名称及び代表者の氏名を記載する。